

平成26年度の主な事業をお知らせします

【議会費】

- ・議会インターネット中継機器整備事業等 221万円
議会中継用PC、ネットワークカメラ設置、通信費などに係る経費

【総務費】

- ・公共駐車場整備事業 4,921万円
認定こども園隣接地への駐車場造成工事に係る経費
- ・森の健康館管理業務 2,712万円
森の健康館の管理運営などに係る経費
- ・体験交流施設整備事業 2,600万円
体験交流施設の渡り廊下新設工事、施設器具等の備品購入などに係る経費

【民生費】

- ・認定こども園整備事業 8億3,264万円
認定こども園の建設事業関連などに係る経費
- ・保育所運営経費 6,743万円
保育所運営委託料、一時保育事業の実施などに係る経費

【衛生費】

- ・地域医療維持助成 7,400万円
住民の健康を守る地域医療を維持確保するため津別病院に助成
- ・ごみ焼却施設管理経費 2,420万円
一般廃棄物広域処理事業負担金などに係る経費
- ・一般廃棄物最終処分場管理経費 4,068万円
一般廃棄物最終処分場施設管理などに係る経費



森の健康館



認定こども園完成予定図



地域医療の拠点・津別病院

【農林業費】

- ・町有林整備事業 4,134万円
施業計画に基づく造林事業等の実施に係る経費
- ・基幹作業道開設事業 3,900万円
林業専用道恩根1号線開設工事に係る経費

【土木費】

- ・町営住宅等建設整備事業 2億2,757万円
旭町団地買取事業、旭町団地外構工事などに係る経費
- ・町道整備事業 5,213万円
町道26号線外1路線改良舗装工事などに係る経費
- ・橋梁長寿化修繕事業 3,630万円
町道204号線1号橋、緑栄橋の補修工事などに係る経費

【消防費】

- ・防災対策経費 829万円
拠点避難所防災備品購入などに係る経費

【教育費】

- ・津別高校振興対策事業 961万円
津別高校振興対策（バス通学費、校納金、教科書等の助成、津別高校振興対策協議会への交付金）に係る経費
- ・教材・備品等購入経費 1,020万円
小中学校の家庭科、音楽、理科教材等の購入、PC更新に係る経費
- ・グレステンスキー場リフト架替経費 911万円
リフトの老朽化に伴う架替工事に係る経費



愛林のまちの木材資源



町営旭町団地



津別高校振興対策を継続

平成26年度 町政方針（抜粋） 美しくて美味しい町に・・・4年目

① 3月4日から始まった定例町議会において、平成26年度予算の審議が行われました。議会開会の冒頭で佐藤町長から予算提案にあたり町政方針が示されましたので、その一部を紹介します（町政方針の全文は町のホームページに掲載しています）。

公約の推進

① 中心市街地の活性化につつましては、多目的活動センター「さんさん館」を拠点に、まちづくりセンター運営協議会をはじめ、町の基幹産業に関わる団体や町おこしグループの協力を得ながら、大通りににぎわいを作り出し、地場産品のPRと販売に向けた取り組みをさらに押し進めて参ります。特にこの3年間で定着した七夕まつり、産業まつり、クリスマスパーティーなど様々な取り組みを通して、引き続き「物産」と「食」に重点を置きながら、地域経済の活性化につつまして参ります。

また、情報収集と発信を十二分に發揮するため、引き続き町民の皆様と団体や企業の方々の協力を得ながら、「観光」「自然」「産業」「見処・食べ処」「工房及びキラッと光る人物紹介」など、本町の魅力とまちづくり

の取り組みを広く発信して参ります。

② 廃屋対策につつましては、昨年度に創設しました「空き家等の撤去促進のための補助制度」が有効に活用されていることから、公共施設も含めた一層の廃屋対策に取り組み、居住環境の整備、景観づくり、防犯対策の向上を推進して参ります。

③ ご当地グルメの開発につつましては、これまで取り組まれてきました「有機カレー」が、JAFつべつから間もなく発売されます。また、北海道でこいランドにおいても「唐辛子入り焼きそば」の商品化が進められており、こうした取り組みがさらに進められるよう女性や若者を含めた多様な人材による自主的な取り組みに対し、必要な支援を行って参ります。

④ 認定こども園と子育て支援センターの併用施設の建設につつましては、今年度、建設着工を迎えます。運営母体となる社会福祉法人夢つべつと連携しながら、子どもが健やかに成長できるよう教育・保育内容を充実させ、平成27年4月の開園に向け準備を進めて参ります。

⑤ 観光事業の充実につつましては、NPO法人森のこだまが森林セラピー基地の認定を受けた上里町民の森自然公園において、森林セラピーガイ

ドの実施や津別峠の雲海ツアーを開き、引き続き地域資源を生かした事業展開ができるよう支援して参ります。また、農業体験メニューなどを組み入れたグリーン・ツーリズムにつつましても、協議会と連携しながら推進して参ります。

⑥ 事務事業の民間委託等の推進につつましては、平成24年10月より開成線を北海道北見バス(株)に経営移譲し、その他の路線はまちバスと改称し混乗スクールバスの運行を開始したところと、特別養護老人ホームいちいの園等の民間移譲につつましては、本年4月より社会福祉法人恵和福祉会に経営移譲することとなりますが、本町の重要な介護事業所であることから、運営に遺漏のないよう連携を図って参ります。また、残る町道の維持管理業務につつましては、現在建設業協会との協議を開始したところであり、本年度中に方向性が出せるよう努めて参ります。

⑦ 議会のインターネット中継につつましては、議会側のご理解とご判断のもと、議会改革の一環として、本年度中における実現をお願いするものです。

地域振興

人づくりの推進につつましては、協働のまちづくりを推進する上からも重要な課題であり、まちづくりの基本を成すものであることから、対象経費の

緩和を含めた見直しを行う「人づくり・まちづくり活動支援事業」による支援を含め、各般にわたる研修や交流事業などを合わせて、次代を担う人づくりに取り組んで参ります。

行政改革と機構改革

平成22年3月に策定しました「津別町新行政改革大綱推進計画（改訂版）」は、平成22年を起点に「総合計画」と同様に平成31年までの10年間とし、本年度は、前期5年間のアクションプラン55項目を検証し、平成27年度以降5年間の後期計画の策定を行います。

機構改革につつましては、一昨年に第2次機構改革をスタートさせ、簡素で効率的な組織を目指し、住民サービスの向上と職員のスキルアップを図ってきたところですが、今後におきましても引き続き検証を行って参ります。

予算規模と財政運営

本年度の一般会計、特別会計、企業会計を合わせた予算の総額は、前年度比2.0%増の7億5,020万円となりました。

地方自治体は、地域経済の活性化、雇用、教育、医療、福祉、防災など数多くの行政課題に取り組まなければなりません。本年度も職員とともに今後厳しくなるであろう地方財政をしっかりと見据え、効果的な行財政運営に丸となって取り組んで参ります。